

未来へのパスポート

～今月のテーマ～

町内唯一の中学校となった今年の高千穂中学生。
全国でも大活躍!!

令和7年度から高千穂中学校は町内唯一の中学校となり、町内全ての小学生が通う学校となりました。その節目の年に郡レベル、県レベルはもちろんのこと、全国レベルの表彰を次々と獲得しています。これは、各小中学校段階から地域の皆さまや先生方が細やかにご指導いただいた結果であると思います。今回は、数多く獲得した表彰の中から、全国レベルの活躍をお伝えします。令和8年度もがんばれ!

1年 興梠 心花さん(高千穂小出身)

『アイテム写真コンテスト「はたらくすがた」』
キャノン特別賞「がんばるポストマン」

「はたらくすがた」は、次代を担う子どもたちが仕事や働くことへの興味を持ち、その大切さに気付くきっかけを作りたいという願いのもと2005年から実施しています。本賞は、3425点の中から受賞しました。



3年 佐藤 樹規さん(上野小出身)

『第8回世界青少年「志」プレゼンテーション大会』
全国大会出場

令和7年11月30日に京都府亀岡市で開催された本大会に佐藤樹規さんが出場しました。

文部科学省の後援を受けた一般社団法人「志教育プロジェクト」が主催しているもので、全国の小学4年生から大学生、3794人の参加者の中から12人のファイナリストとして選ばれました。

本大会は、社会課題の解決、人の幸せへの貢献、世界をつなぐ挑戦など、自らの使命を生きようと決意した若者たちが発表する場です。



3年 原田 紗和寧さん(高千穂小出身)

3年 大原 舞桜さん(三ヶ所小出身)

2年 富高 桜子さん(押方小出身)

『全国いじめ問題子供サミット』県代表

令和8年1月24日に東京の文部科学省にて「全国いじめ問題子供サミット」が開催され、生徒会3人が宮崎県代表として参加しました。



3年 藤野 由依さん(田原小出身)

『北方領土に関する全国スピーチコンテスト』
県中学生北方領土に関する作文コンクール最優秀賞

次代を担う中学生に終戦前後から続く北方領土問題への関心を持たせ、正しく理解してもらうことを目的に創設され、今回で15回目。全国5923作品の中から10作品に選ばれ全国大会に出場しました。



もっと知りたい! 高千穂高校

～高千穂高校魅力向上推進委員会～

高千穂高校では、西臼杵3町をフィールドに、教室の机上にとどまらず、生徒が主体となって活動し、一人ひとりがまちづくりに関する実践的な知識を学ぶ取り組みも行っています。

西臼杵探究キャンプ in 高千穂町

高千穂高校生が尾久保牧場やあまてらす鉄道、道の駅などで仕事体験や聞き取りを行い、高千穂町の魅力について考える探究キャンプを実施しました。宮崎大学生とも協働し、地域の現場から学ぶことで、西臼杵郡の未来を担う人材育成を目指しています。今後は、日之影町や五ヶ瀬町でも実施する予定です!



参加した生徒からは

- ・地域の仕事や人に直接触れ、高千穂の新たな魅力に気づくことができました。
 - ・フィールドワークや発表を通して、挑戦する勇気や自信がついた。
 - ・探究やプレゼンの進め方が分かり、今後の探究学習に活かせると感じた。
- など、探究活動を通じての感想が寄せられました。

仕事図鑑を作成しよう!

総合的な探究の授業で地域の大人と出会い、交流することを通して、基礎的な探究スキルを身につけるとともに、2年次以降の探究のテーマについて考えを深めることを目標に、「西臼杵仕事図鑑作成」という活動を行いました。

1年生が3人一組となり、インタビュアー・記録・写真の役割を分担し、それぞれが地域や自分の興味・関心と結びつけながら、地域で活躍する大人へインタビューを行いました。



参加した生徒からは

- ・コミュニケーション力やチームワークが身につく、地域への理解が深まった。
- などの感想が寄せられ、生徒一人ひとりが地域とのつながりを実感しながら、地域について考えを深めることに繋がりました。

地方創生☆政策アイデアコンテスト

高千穂高校の課外活動グループ『ウゴノタケノコ』が内閣府主催の地方創生☆政策アイデアコンテスト(東京都)に出場しました。

応募総数1153件という激戦を勝ち抜き、九州代表に選出され、最終審査会では見事優秀賞(全国2位)を受賞しました!

『ウゴノタケノコ』は高千穂高校農場横の放置竹林の課題解決を目指し、高千穂メノマの商品開発や竹灯籠づくりなどに取り組みました。活動の根拠となるデータ分析を丁寧に行っていることや、提案だけでなく、地に足がついた実践を行っていることが高く評価されました。



* 高千穂高校魅力向上推進委員会では様々な支援事業を通して生徒・地域が連携した学びを応援しています。